

IT資産とセキュリティ管理

危険な「パソコンを手間なく検出 運用管理ツールが身近になった！」

取引先から「セキュリティ対策や情報保護対策を行っていますか」と問われ、慌てて総務部員（IT担当も兼任）に確認。「ウイルス対策ソフトは入れています、1台1台まで確認できていません。時間がありません」と渋い顔をされてしまった…。

これは、どの会社にも起こりうる話だ。セキュリティ対策は、怠ると大きな問題を引き起こす可能性がある。チェックの仕組みが必要だが、パソコンの台数が一定以上になると人手による確認では時間がかかりすぎ、「管理するのが仕事」になってしまう…。

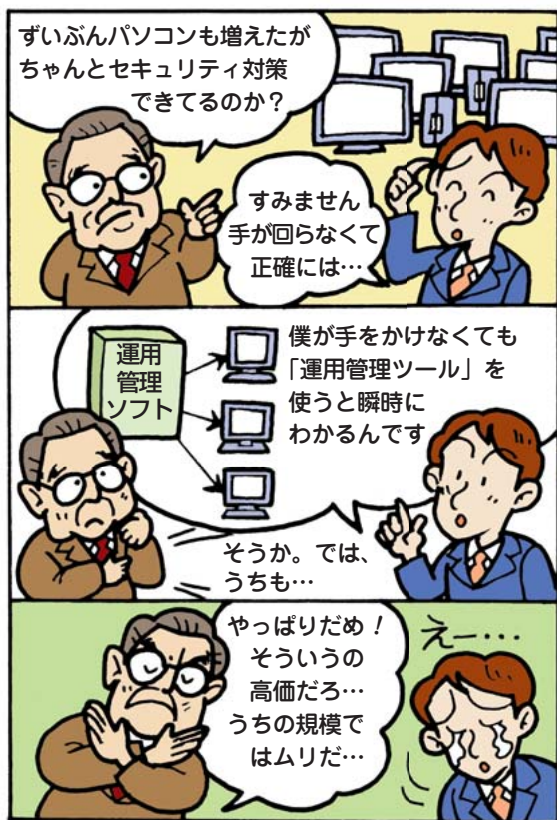
運用管理ツールは必須 しかし導入の課題もあった

こうした日々の運用管理をスムーズに行うために提供されているのが、運用管理ツールという

ソフトウェアだ。ネットワークにつながるパソコンの利用状況を管理者が一元的に把握できるもので、大企業・中堅企業を中心に広く用いられている。しかし高機能な運用管理ツールは、コストも高くなりがちで、IT専門の担当者や置かない会社では使い切れないという課題もあった。

「自社の規模に合う導入を見送らざるを得ない。管理が行き届かない状況で問題が起きたらと思うと心配で…」不安なまま業務を行っている担当者も多いことだろう。

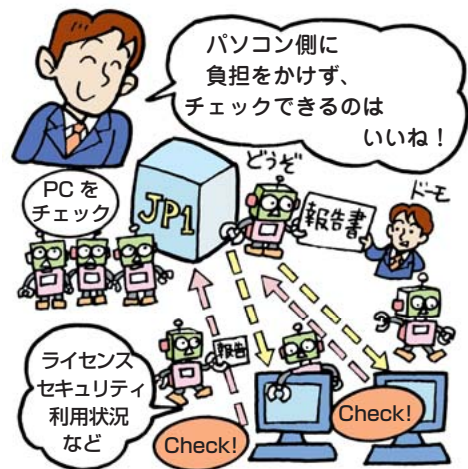
そこで多くの企業が運用管理ツールを活用できるよう新開発されたのが、日立製作所の「JP1 Ready Series」(ジェイピーワン・レディ・シリーズ)である。同シリーズは統合システム運用管理として定評のあるJP1



見やすい画面で 状況が一目瞭然

同製品はサーバーにインストール(設定)して使うソフトウェアである。

何よりも便利なのはソフトウェアの内容やバージョンといったIT資産、またセキュリティ対策状況といった情報が自動的に収集



「JP1 Ready Series」の企画・開発者。
システム管理ソフトウェア本部
第2JP1設計部 部長 大坂弘江氏(写真右)
同本部 JP1マーケティング部 主任技師 関芳治氏(写真左)

され、管理画面(下図参照)に見やすく表示される点だ。

画面をチェックしていけば、危険なコンピュータや必要な対策が一目瞭然。問題のあるパソコンに対策を施したり、状況を見てルールの変更等を実施すればよく、管理業務もスムーズになる。

運用管理ツールでは、パソコン側にエージェントと呼ばれるソフトウェアをインストールするのが一般的だが、同製品では、この設定をしなくても基本的な管理ができ、このあたりも使いやすさをアップさせている。

気になる費用は基本ライセンスが42万円(税込)、サポートサービスはライセンス数によらず12万6千円(年間、税込)と、今までにない価格を実現した。利用人数が増えなくてもサポート費用が増えないのは、成長企業に心強いところだ。

同製品のWebサイトでは、実際の操作画面を体験でき、また全国各地で体験イベントを開催中だ。まずは、自分の目で確かめてほしい。

リーズナブルに
社内のパソコンを
集中管理

JP1/Desktop Navigation

手間なく

① IT資産管理
ハードウェア、ソフトウェアの
リスト管理 など

② 情報セキュリティ対策
対策状況レポート、対策の設定
支援、違反の警告 など

どんな状況か

社内ですべてのパソコンを自動check

ここがポイント

- ① パソコン側に
エージェントソフト不要
- ② 見やすい管理画面
[ダッシュボード]
- ③ 導入しやすい価格

製品価格(ソフトウェア)
基本ライセンス 42万円(税込)
サポートサービス 12万6千円(税込・年間)

**追加ライセンスが発生しても
サポートサービス料は固定**

ランニングコストも安い!

「JP1を体験できる機会も豊富」
10月～11月に大阪、東京、名古屋、博多、
札幌、広島で体験イベントを開催
詳細はホームページをご覧ください

なんだ。
これなら、手が届くし
カンタンに使えるぞ

うちの
セキュリティ診断の
結果は？
もうすっかり
慣れちゃってる

どれどれ…

「JP1/Desktop Navigation」の管理画面

ホーム画面「ダッシュボード」では、機器の状況やセキュリティ対策状況を見やすく整理(左)
まずは初期診断!
自社のセキュリティ対策レベルがわかる(右)



お問い合わせ先

株式会社日立製作所
ソフトウェア事業部

0120-55-0504

<http://www.hitachi.co.jp/dtnavi/>



情報セキュリティ
セキュリティ運用管理
システム

JP1 Ready Series
あなたの会社が強くなる